

(様式2(1))

事業所名:グループホーム暖家

目標達成計画

作成日: 平成 30年 11月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	ご利用者様の心身機能の重度化が進行し、それに伴う支援方法が重要になってきている。	可能なご利用者様は、身体機能の維持・進行防止に努める他、思い出作りを大切にし、各々ご利用者様の希望に添った個別外出を目標にしており、今後も継続して行きたい。	セラピストによる訪問により身体機能のリハビリを実践指導して戴き、身体機能の維持・進行防止に努めることや、各々のご利用者様のご希望に添った個別外出を引き続き実施する。	長期
2	34	ご利用者様の緊急時(救急など)今まで幾度か実践体験をしているが、実際現場に直面した場合、現場のスタッフがパニックになる事がある。	前回に引き続き職員全員が緊急時の対応がしっかり出来るようにする。	緊急マニュアルの見直しと、定期的に緊急時想定訓練を重ねて、実践力を職員全員が身に付け、落ち着いた対応が出来るようにする。(年2回行っている消防訓練においても実施する。)	長期
3					月
4					月
5					月